

令和6年度第2回広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会 議事要旨

- 1 日時
令和6年12月10日（火） 午後1時30分～午後2時50分
- 2 場所
広島市役所本庁舎14階第7会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員
伊藤 圭子（会長）、古森 公人、崎田 省吾、鉄村 忠基、西村 千賀子、林 千秋、原田 佳子（以上7名）
 - (2) 事務局（市）
環境局次長、施設部長、埋立地整備管理担当部長、業務部長、環境政策課長、温暖化対策課長、施設課長、埋立地整備管理課長、埋立地整備担当課長、工務課長、業務第一課長、業務第一課指導担当課長
- 4 次第
 - (1) 開会
 - (2) 議事
議題 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（食品ロス削減推進計画を含む。）の素案について
 - (3) 閉会
- 5 公開・非公開の別
公開
- 6 傍聴人の人数
0名
- 7 会議資料
 - 〈会議関係〉
 - 令和6年度第2回広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会 配席表
 - 広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会 委員名簿
 - 〈議事関係〉
 - 資料1 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）の概要
 - 資料2 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）
 - 資料3 第2回広島市食品ロス削減推進部会で出された主な意見と対応（案）

8 議事要旨

発言者	発言要旨
伊藤会長	・ 本日の議事は議題が1件である。事務局から議題について説明をお願いする。
環境政策課長	【報告：広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（食品ロス削減推進計画を含む。）の素案について説明】
伊藤会長	・ 議題の説明について、御意見、御質問等があれば承りたい。
原田委員	・ 素案の81ページの第9章のPDCAサイクルについて、ごみがどの程度減ったかなどについて評価・公表されると思うが、例えばごみ処理に係る費用がどのくらい減ったかなどについても評価・公表するのか。
環境政策課長	・ ごみ処理コストの関係でいうと、60ページに本市の取組としてごみ処理コストの削減を挙げており、こちらに記載している施策について、毎年度評価をしていくことになる。 ・ ごみ量やごみ処理費をどのくらい削減したかなど、評価の方法について数字で示すかどうかは改めて検討するが、審議会で報告する資料等については、該当年度の実績のみでなく、評価を記載した資料を報告したいと思う。
原田委員	・ 食品ロスの講義をする時に、具体的な数字、特にお金の話などをすると、説得力があり反応が良く、よく理解していただいているように思うので、お願いしたい。
崎田委員	・ 目標値のところだが、例えば40ページの埋立量について、排出量を15%削減し、資源化量を5%増加させることで、埋立量を20%削減するという根拠でよかったか。
環境政策課長	・ おっしゃるとおりである。
崎田委員	・ 10ページのごみの排出・処理実績の右下の直接埋立の家庭の部分にリサイクルプラ245トンの記載があるが、これは調査をして数字を出したのか。
事務局	・ 市民からリサイクルプラとして排出されたものに対して、市の選別施設で仕分けして処分したものが記載されているため、御質問の部分についてはリサイクルプラとして排出されたが、分別間違いとして選別した後に埋立処分された量が記載されている。
伊藤会長	・ 各項目でごみの減量とリサイクルについてなど、リサイクルという言葉がよく使われているが、リサイクルの中にはリユース等も入っているという認識なのか。 ・ リサイクルは形を変えて利用していく、リユースはそのまま再利用するといったことになると思うが、ごみの減量とリサイクルの項目の中にリユースの話が出てくるなど、記載が混在しているようにも感じるが、リユースは項目出しせず、リサイクルだけを項目出しするということによいのか。
事務局	・ ごみの減量とリサイクルという記述については、3Rのうち、ごみとして排出されていないリデュースとリユースについて「ごみの減量」と表現しているため、そのような記載としている。
原田委員	・ 76ページで市民事業者との協働による施策の推進部分ですが、色々取組内容が記載してあるが、実際にはそれらの内容を踏まえてどう具体的に実践していくのが重要だと思うが、それについては、各担当部署が検討していくことになるのか。
環境政策課長	・ 素案の2ページにごみ処理基本計画と各関連計画との関係を記載しており、ごみ処理基本計画を基に実施計画を毎年度作成し、それに基づき取り組んでいくことになる。 ・ 御指摘いただいた食品ロスの関係の取組については、担当課が計画的に取り組んでいくことになるが、先ほど説明した実施計画の中にどの様に盛り込んでいくのか検討したいと思う。

発言者	発言要旨
伊藤会長	21 ページにごみ処理費の推移について、増加傾向にあると記載されている中で、令和 5 年度はさらに多くなっているが、この増加要因はどういったことが考えられるか。
環境政策課長	令和 5 年度のごみ処理費について、令和 4 年度と比較すると、焼却に係る費用が 12 億増えており、この要因としては、南工場の建替えのための解体費用が十数億掛かっていることが大きな要因である。
伊藤会長	焼却費用の中に南工場の解体費用も含まれているということか。
環境政策課長	おっしゃるとおり、焼却費用の中には、焼却施設の修繕なども含まれており、今回の南工場の解体費用は焼却費用の中に含まれている。
伊藤会長	他に御質問はないか。ないようであれば、「広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の素案について」皆様にお諮りする。広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の素案について、案のとおりとし、答申案の作成にあたることに異議はないか。
各委員	(異議なし)
伊藤会長	- 異議なしということなので、広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の素案について案のとおりとし、本日委員の皆様からの御意見を参考にし、答申案の作成にあたってください。 - この他、御意見・御質問等ないので、本日予定していた議事についてはこれで終了する。